

清風クラブ 令和6年度 施政方針について



宗實 雅典 議員
MASANORI MUNEZANE



市政推進の基本姿勢について

問 山陽自動車道の龍野及び龍野西インターチェンジ周辺の利活用の内容と計画について

答 本市都市計画マスタープランにおいて、龍野インターチェンジ周辺は、本市中心核として商業・業務施設の集積を図ることとしている。

本年10月の市街化区域編入に向け、決定権者である兵庫県と協議、手続きを進めており、土地区画整理事業については、龍野インターチェンジ周辺地区土地区画整理準備組合により事業化が進められ、本年2月には、事業化パートナーであった㈱竹中土木が業務代行予定者へ移行した。今後は、業務代行予定者において、土地区画整理事業に係る測量・設計等が行われ、本年12月に事業認可、令和7年1月には土地区画整理組合の設立が予定されている。

龍野西インターチェンジ周辺では、交通便利性を生かした産業団地の整備について、法規制状況の整理、産業団地需要の把握と推計、整備手法や概算事業費の調査を行い、事業の実現性や妥当性を検討し、事業実施の是非も含め、来年度以降、産業団地整備の方向性を検討していく。

良質な住環境の整備について

問 自己所有地に隣接する空き家の土地・建物を統合する補助金等の内容について

答 自己所有地に居住している又は事業で使用している方が、隣接地と空き家を取得する場合、土地の統合に関する費用や、空き家の除却費を補助することで、空き家の解消を図るものがある。

補助対象要件として、取得後10年間は自己所有し、適正に利用、管理する必要がある。

その他の質問事項

- 新宮地域小中一貫校の開校に向けた実施設計業務について
- 新宮地区だけではなく他の地区の検討の必要性について
- 龍野IC周辺の渋滞緩和策として周辺道路の改善・新規に道路や橋梁を作る考えはないか

新生クラブ 施政方針演説「未来のために果敢にチャレンジ・投資」に期待



和田 美奈 議員
MINA WADA



新宮地域小中一貫校周辺環境整備事業について

問 この事業を新宮地域が過疎地域から脱却する契機とすべき。周辺には良質な住宅地が整備できる可能性があるが、「まちづくり構想」を作成し、より計画的・効果的にまちづくりを行う考えはないか。

答 小中一貫校の建設を契機とし、周辺の住宅地や公共施設、地域資源や駅周辺の既存の工場地を含めた「まちづくり構想」を、将来において地域住民、地元企業、市が一体となって検討することにより、住んでみたい、住み続けたいと思える地域づくりが実現できると考えている。

地域公共交通について

問 近隣市町との連携や様々な分野との共創、観光と一体となった高付加価値化に向けた取組みが必要と考えるがどうか。

答 「地域公共交通会議」において、合意形成していく必要がある。

観光振興施策について

問 下川原蔵あかね「はどのよ」な体制や構想なのか。

答 観光案内ができるように常時人を配置し、地元特産品等を販売する。また、レンタルサイクルを運用する。

問 本市観光をさらに盛り上げるために、他市のように、現在「市民まつり」などを担当している観光振興課の体制を見直し、より観光に特化したクリエイティブな業務ができる体制にする考えはないか。

答 観光振興課の指摘は、懸案事項として認識している。課内に観光政策係を設け、プランニングや企画等を行うこともひとつの選択肢として考えている。

その他の質問事項

- 志んぐ荘の契約期間、契約内容
- 体育館空調設備についてなど